

問

IT化社会での高齢者などへの対応は

町長

不利益を被ることがないように

IT化で困っている人の把握と支援は

問 国はデジタル社会の推進のためデジタル庁を作り2025年末までに行政手続きのオンライン化、ペーパーレス化、電子化を進める自治体を目指しているが、IT化について行けず困っている人もいます。どのように把握し支援するのか。

答 現在では困っている人の実態把握はしていないが、今後IT化が進むに伴いIT難民がい

ることも認識した上で、必要な情報をわかりやすく周知し、要望があれば高齢者向けスマートフォン講座開催も検討する。

マイナンバーカード

問 国はマイナンバー

カードで社会保障、納税、健康保険などを一体化して効率化を図ろうとしているが、マイ

ナンバーカードを持たない人が将来的に不利益を被る事はないか。

答 現在、マイナンバーカードでできる主なサービスは、確定申告や健康保険証の代わり、まだ本町では導入していないがコンビニでの住民票の写しや各証明書の交付がある。

マイナンバーカードが無くても従前どおり手続きが行われており、マイナンバーカードを持たない人が不利益を被ることはない。

ただ、さまざまな場面で本人確認を求めら

れることが多くなってきたており、運転免許証を持たない人には顔写真付きのマイナンバーカードが、身分証明書として使用できるメリットはある。

IT化が進んでもアナログ的な視点を

問 IT化、デジタル化が進んでも町民一人一人の顔を思い浮かべるアナログ的な視点も忘れてはいけないと思う

が、それらへの対応をどのように考えているか。

答 IT化で利便性の向上が図られるが、全国統一的なデジタルサービスは、スマートフォンとマイナンバーカードを所有していることが前提となっている。高齢者の中には急速に進むIT化への対応が難しい方がいると考えている。

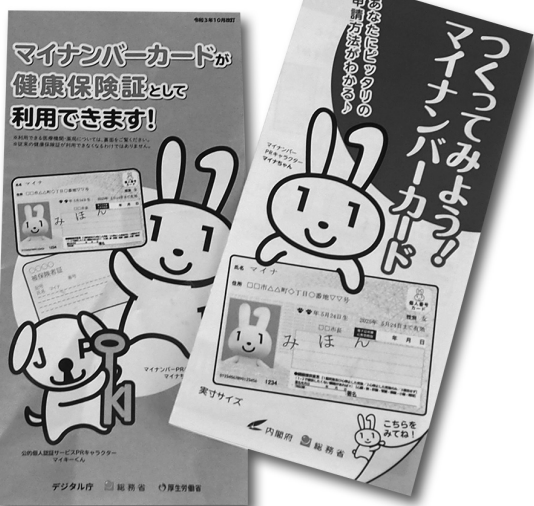
町の整備を進めつつも現在実施しているアナログ的な紙媒体も必要とされる限り継続していく。

町が実施するさまざまな事業で、高齢者の方々が不利益を被るような拙速な変更の予定はない。



かわばた よしえ 河端 芳恵 議員

家の前に消防庁舎が建ち風景が変わりました



10メモ

ITとは

「情報技術のこと」デジタル方式の技術や製品・サービスの総称。

パソコン、スマホ、インターネットだけではなくAI（人工知能）なども含む。

